



問 地方創生の取り組みについて伺う

答 「持続可能なまちづくり」に向け策定する

公明党 植木 伸寿 議員

議員 「まち・ひと・しごと創生」の策定の進捗は。

村長公室長 策定にあたっては、特に若い世代にスポットをあてることを基本に、「仕事づくり」では事業所と連携した雇用支援や経営支援を、「結婚・出産・子育て」では「ネウボラ」の検討や、子育てにやさしい環境づくりを、「まちづくり」では協働での地域づくりや村の魅力発信などの議論を進めている。総合戦略は「持続可能なまちづくり」に向け、いかに人口減少を食い止め将来に希望を持てる村をつくるかが重要なテーマである。

議員 農産物等へのブランド化はどうか。

建設農政部長 本年、商工会・観光協会が主体となつて東海村おすすめ

用語解説 ネウボラとは…フィンランドにおける子どもとその家族を支援する公的施設のこと。母子の病氣予防・心身の健康促進を目的としている。



商工会・観光協会
東海村おすすめセレクション

セレクションをスタートさせた。農業サイドとしても、これらの動きと連携しブランド化の確立に努める。

議員 「婚活」への見解を伺う。

村長公室長 「婚活」自体に取り組むというよりも女性がいきいきと働くことができる社会を目指すことを基本に結婚や子育てしやすい環境整備に努める。

問 原子力施設老朽化対策を危惧

答 可能な限り施設の安全対策を進める

豊創会 豊島 寛一 議員



議員 東海再処理施設廃止法案が示された中、原子力施設の老朽化、昭和30年代に建設された建物も既に半世紀を経過し、軽微事故の多発問題の浮上りが気掛かりである。忍び寄る老朽化の影。予算の減額に伴い職員数の減少により手薄になる。老朽化施設の廃止に時間がかかることや、廃棄物処分場が決まっていないのが最大の要因。

村民生活部長 東海再処理施設では潜在的な危険の低減に係る取り組みとして、プルトニウム溶液の混合転換処理を進めているところである。下期には、高レベル放射性廃液のガラス固化処理を開始する計画とのこと。今後、使用を取り止める施設を明確にした上で、新規制基準への対応に係る検討を進めていく計画である。



原子力施設

る。原電の東海発電所は、汚染拡大防止・被曝低減・事故防止の各対策及び不法接近・侵入防止対策を講じ、機能が維持されていることを定期的に点検するなど、安全確保を行っている。廃棄物処分場については県と連携し、要望していく。